

目 次

提言の要旨	3
はじめに	4
1 新十津川町の地勢	4
2 新十津川町の現状	5
(1) 人口 (2) 産業 (3) 観光	
3 町の定住促進の取り組み	6
(1) 新築・中古住宅取得助成金の支給 (2) 乳幼児医療助成	
(3) 空き家・空き地・アパートバンク情報 (4) 新規就農者への支援	
(5) 学生対象農業体験ツアー (6) 企業誘致	
4 新十津川町が実施した町民アンケート	7
(1) まちづくり町民アンケート(総合計画用)	
(2) まちづくりに関する町民アンケート	
(3) アンケートから見えたこと	
5 北海道内市町村の定住促進施策の状況	8
6 考察	8
(1) 若者世代の人口流出 (2) 実施中の主な定住促進施策の状況	
7 課題	9
課題1 新十津川町の認知度向上	
課題2 若者世代の人口流出防止	
8 提言	10
提言1 ちょっとだけでも来てもらおう。短期滞在型農業体験プラン	
提言2 若者へのちょっとまって対策	
9 効果	16
10 おわりに	16

提言の要旨

新しい定住促進のかたち
～おいでよ新十津川町～

現状分析

人口減少、特に若者の流出
人口の約 35%が 65 歳以上の高齢者
農家戸数・農家人口の減少

課題

流出人口
少子高齢化

農業後継者不足

交流人口横ばい

空き家の増加 休耕田の増加 新十津川町の低い認知度

ここで!

いきなり定住ではなく、
まず新十津川町の良さをPR

提言

提言 1
ちょっとだけでも来てもらおう。
短期滞在型農業体験プラン
・農業体験プランの作成
・体制と仕組み
・PR方法の改善

提言 2
若者へのちょっとまって対策
・住宅支援
・農地の貸出等

町の活性化
上昇サイクル

効果

交流人口の増加
→町に活気が宿る
町の認知度アップ
流出人口の抑制

一度来た人は、
新十津川町の
良さを実感

定住者の増加